

事業所向け放課後等デイサービス自己評価表結果

2025.3月

総評として：活動を行う環境としては十分とは言えない部分もあるので、今後も工夫が必要。保護者様の要望に沿った活動を行ってはいけるが、内容がパターン化しがちなので、成長に応じた活動プログラムを立てられる様スタッフ間で話し合っていく。緊急時の対応について、もっと周知していく必要がある。

| | | はい | どちらともいえない | いいえ | アンケートからの意見・検討会での意見・提案 | |
|--------------------------------|---|-------|-----------|-----|--|--|
| 環境体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | キッズ | 7 | 0 | 0 | ・その日の利用人数によっては狭く感じる事もある(キッズ) ・子供達の体格に対して狭いと思う(ティーンズ) 活動スペースの基準は満たしているが狭く感じる事がある。活動内容と時間帯で部屋の使い方を工夫し、外で活動する時間も設けて活動場所を増やす。 |
| | | ティーンズ | 2 | 2 | 0 | |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | キッズ | 7 | 0 | 0 | ・送迎などでスタッフが抜けたりすると、少なく感じる事もある(キッズ) ・基準は満たしているが、活動内容によってはスタッフが足りないと感じる時もある(ティーンズ) 人員配置は基準を満たしているが、活動場所を分けたりするとスタッフが足りないと感じる事もあるので、全体で行う作業と個々に行う作業とで場所や時間、スタッフの配置を工夫し、活動の幅が狭まらない様にする。 |
| | | ティーンズ | 2 | 2 | 0 | |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | キッズ | 3 | 2 | 0 | ・民家の為段差はあるが、生活上必要なトレーニングの1つとして練習している(キッズ) ・民家の為であるのと予算の関係により難しい(ティーンズ) 建物の構造上バリアフリー化は難しいが、安全面に配慮して危険箇所がないようにし、ある場合はスタッフ間で情報を共有して周知する。 |
| | | ティーンズ | 1 | 3 | 0 | |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | キッズ | 5 | 2 | 0 | ・活動終了後に話し合う機会を設けている。ホワイトボードに貼るなどして対応しているが完全に周知させるのは難しい(キッズ) ・活動で気になった点など終了後に振り返っているが、利用者が遅くまで残っている事もあるので難しい(ティーンズ) 活動が終わってから振り返りを行っているが、時間を取る事が中々出来ない時もあるので、個別記録日誌やボードなどに細目に記入し全員が目にする事が出来るツールを活用する。 |
| | | ティーンズ | 3 | 0 | 1 | |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | キッズ | 6 | 1 | 0 | ・アンケートは毎年行っている(キッズ) ・アンケートで分かった保護者様の意向を支援に反映する様にしている(ティーンズ) 毎年アンケート調査は行っている。その結果をスタッフ研修などで全員が周知出来るようにし、そこで一つ一つの要望、課題に向き合って解決策を考えていく。 |
| | | ティーンズ | 4 | 0 | 0 | |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | キッズ | 7 | 0 | 0 | ホームページで公開している。今後も行っていく。 |
| | | ティーンズ | 3 | 1 | 0 | |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | キッズ | 1 | 1 | 5 | ・第三者による外部調査は行っていない(キッズ・ティーンズ) 第三者による外部評価は行っていないが、行政・学校などと連携して業務改善につなげている。 |
| | | ティーンズ | 4 | 0 | 0 | |
| 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | キッズ | 7 | 0 | 0 | ・月1回、毎回内容を変えて行っている(キッズ) ・毎月担当を決めて行っている(ティーンズ) 研修の機会を確保している。専門の知識のある講師を呼んで研修も行った。今後も続けて職員の資質の向上につなげていきたい。 | |
| | ティーンズ | 3 | 1 | 0 | | |

| | | | | | | | |
|----------|--|--|-------|---|---|---|--|
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか | キッズ | 7 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・半年に一度アセスメントを行い、責任者が作成した書類等共有している(キッズ) ・アセスメントを基に支援計画を作成している(ティーンズ) 保護者様とアセスメントを行い、ニーズに沿った計画を立てている。今後も行っていき、成長する上で必要な支援を一緒に考えていく。 |
| | | | ティーンズ | 3 | 1 | 0 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか | キッズ | 6 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたツールは使っていないが個々の状況に合わせたアセスメントを行っている(キッズ) その都度必要なアセスメントを行っている(ティーンズ) 標準化されたものは使用していない。利用者に合ったアセスメントツールをそれぞれに作って使用している。今後も成長に応じて作成しスタッフ間で共有していく。 |
| | | | ティーンズ | 2 | 0 | 1 | |
| 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | キッズ | 6 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・常にスタッフ全員がいる訳ではないので特定のスタッフに偏りがち(キッズ) スタッフがそれぞれの関わりが多い利用者について必要な支援を提案し、全員で話し合い活動プログラムを作成している。 | |
| | | ティーンズ | 3 | 0 | 1 | | |
| 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | キッズ | 5 | 2 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・固定化しないように気を付けてはいるが、パターン化しがち(キッズ) ・部活後の来所などで滞在時間の短い利用者に関しては、新しい課題を提供しにくい(ティーンズ) 活動プログラムがパターン化しやすいので、個々の成長や気付いた点などを報告し合い、それに応じた活動を行っていきたい。 | |
| | | ティーンズ | 3 | 0 | 1 | | |
| 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか | キッズ | 6 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題は作成しているが、細やかには行っていない(キッズ) ・その通りにはいかない時もある(ティーンズ) 細やかには設定しておらず、その時々の子どもの様子を見ながら臨機応変で課題を決めて行っている。成長に応じてその都度課題を変化させている。 | |
| | | ティーンズ | 3 | 0 | 1 | | |
| 14 | 子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | キッズ | 7 | 0 | 0 | 個別ごとの課題を設定し支援していきつつ、お出かけや室内ゲーム、音楽療法、健康体操、調理体験等の集団活動も行っている。子どもの特性などに応じて、あまり無理のない様に支援していく。 | |
| | | ティーンズ | 3 | 1 | 0 | | |
| 15 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをしその日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | キッズ | 4 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・打合せは行っている。細かい内容など全スタッフに周知されない事もある(キッズ) ・役割分担がうまくいかない事もある(ティーンズ) 打合せは必ず行っていく。役割分担など細かいところまで行われていない時があるので、開始前に話し合い、お互い確認していく。 | |
| | | ティーンズ | 4 | 0 | 0 | | |
| 16 | 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをしその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | キッズ | 5 | 1 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・気づいた事があれば、時間に限りはあるがその都度話し合いを行っている(キッズ) ・夕方は子供が残っていて中々行う事が出来ない(ティーンズ) 時間が取れず難しいが、その都度話し合ったり書面に残して共有したりなど工夫をしていく。 | |
| | | ティーンズ | 1 | 3 | 0 | | |
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証、改善につなげているか | キッズ | 7 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・一人の利用者に対して全員でチェック体制を取っているが、漏れが見られる事もある(キッズ) ・記録は毎日必ず行っているが、それに対しての検証まで行わない時もある(ティーンズ) 項目を分け、細かく記録をつけている。記録した事をスタッフ間で共有する時間を設け、必ず検証・改善につなげていく。 | |
| | | ティーンズ | 3 | 1 | 0 | | |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | キッズ | 6 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて6か月を待たずに3か月程度でモニタリングを実施している(キッズ) ・支援計画の見直しは行っている(ティーンズ) 定期的に必ずモニタリングは行っている。そこで保護者様と話し合い、子供の成長と保護者様のニーズに合わせ、課題を変化させていく事を重視している。今後も行っていく。 | |
| | | ティーンズ | 3 | 1 | 0 | | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援をおこなっているか | キッズ | 6 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・組み合わせの基本活動が周知されていない(キッズ・ティーンズ) ガイドラインの全ては全スタッフには周知できていない。定期的に読み合わせしたり確認し、今後の活動につなげていく。 | |

| | | | | | | | |
|--------------|--|--|-------|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 19 | 障害児のケアが充実しているか | ティーンズ | 3 | 0 | 1 | ロイビに確認しロフにツして現在の活動にツなツていへ。 |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | キッズ | 7 | 0 | 0 | 基本的に児発管が会議に参加している。必要に応じて関わりの多いスタッフも参加する。 |
| | | | ティーンズ | 3 | 0 | 1 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画行事予定の交換子どもの下校時刻の確認)連絡調整(送迎時の対応トラブル発生時の連絡)を適切におこなっているか | キッズ | 7 | 0 | 0 | 学校とは常に行事予定、引き渡しの時間や場所などについて情報を共有しており、変更があった場合はその都度連絡し合う。今後も情報共有は必ず行っていく。 |
| | | | ティーンズ | 4 | 0 | 0 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | キッズ | 2 | 1 | 4 | ・ケアが必要な子はいないが、検査結果・薬の処方等の報告は受けている(キッズ・ティーンズ) 現在、医療的ケアが必要な子は利用していない。協力医療機関を設けたり、定期的な受診の結果を聞くようにしている。 |
| | | | ティーンズ | 1 | 1 | 2 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解につとめているか | キッズ | 6 | 1 | 0 | ・利用開始前に必ず会議、または情報の共有を行っている(キッズ) 新しく利用開始する子は、相談支援を通じ、利用していた施設との担当者会議を行い、情報共有を行っている。 |
| | | | ティーンズ | 1 | 0 | 3 | |
| | 24 | 学校を卒業し放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合それまでの支援内容等の情報を提供しているか | キッズ | 7 | 0 | 0 | ・移行先の事業所への資料提供、共有会議をしている(ティーンズ) 移行支援会議を行い、支援計画の終期評価や、今までの支援の記録などを使い引き継ぎを行っている。特性や強みなどを細かく伝え、その後の就労活動に役立てていく。 |
| ティーンズ | | | 3 | 0 | 1 | | |
| 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか | キッズ | 4 | 2 | 1 | ・関係機関との連携は出来ていると思う(キッズ) ・機会の確保が難しい(ティーンズ) 主に児発管が行っている。パートさん達に対しても専門機関による研修の機会を作っていこうと思う。 | |
| | | ティーンズ | 1 | 2 | 1 | | |
| 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | キッズ | 1 | 0 | 6 | ・公共の公園等で一緒に会った子と遊ぶ程度(キッズ) ・交流する機会は設けなかった(ティーンズ) お出かけの際、公園で障がいのない子達と一緒に遊ぶ事はある。今まではコロナの為交流する機会はなかったが、必要な時があればその場を設けていく。 | |
| | | ティーンズ | 0 | 1 | 3 | | |
| 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | キッズ | 3 | 3 | 1 | ・協議会は年に一回開催している。市で行っているワーキング部会に参加している(キッズ) 気仙沼市は開催頻度が少ないが、代表者が参加している。 | |
| | | ティーンズ | 1 | 2 | 1 | | |
| 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達や課題について共通理解を持っているか | キッズ | 6 | 2 | 0 | ・送迎時や連絡帳などで子どもの様子を保護者様に伝えている(キッズ・ティーンズ) 日々口頭や連絡帳を通じ、報告を行い保護者との共通理解を持つように心がけている。気になる事をメールでやりとりする事もある。今後も続けていく。 | |
| | | ティーンズ | 3 | 1 | 0 | | |
| | | 保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対してペアレント | キッズ | 3 | 3 | 1 | ・必要な保護者には行っていた。今後機会を増やしていきたい(キッズ) 関わり方など相談されれば助言を行っている(ティーンズ) 保護者に対してのペアレントトレーニングの研修は行っていない |

| | | | | | | | |
|------------|---|---|-------|---|---|--|---|
| | 29 | ほかつ保護者に対して、イベントトレーニング等の支援を行っているか | ティーンズ | 2 | 1 | 1 | が、個別面談時や、連絡帳、日々の送迎の際に相談や助言を行っている。必要な保護者には、随時、事業所内相談や家庭訪問を行い、より丁寧な支援を行っている。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | キッズ | 7 | 0 | 0 | 契約の面談時に運営規程、重要事項説明書、契約書について読み合わせ、説明を行っている。 |
| | | | ティーンズ | 4 | 0 | 1 | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか | キッズ | 4 | 1 | 0 | 要望や必要に応じて、個別に行っている。こちらでも活動に取り入れ |
| | | | ティーンズ | 4 | 0 | 0 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | キッズ | 1 | 4 | 2 | ・コロナの為開催を控えていたが、今後また行っていく予定(キッズ・ティーンズ) 現在父母の会は行っていないが、横のつながりを作る機会は今後作っていきたい。親子参加型イベントや懇親会など保護者様同士が話し合う機会を設け、支援や子育てに関する疑問や不安を取り除いていく。 |
| | | | ティーンズ | 1 | 0 | 3 | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | キッズ | 6 | 1 | 0 | ・連絡を頂いた段階から状況の確認等を行うようにしている(キッズ) 大きな苦情はないが、要望等あった際は、スタッフ間で共有し、必要があれば保護者への周知を行っている。 |
| | | | ティーンズ | 3 | 1 | 0 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | キッズ | 7 | 0 | 0 | ・オレンジ便りやオレンジタイムズで活動の予定や様子をお知らせしている(キッズ・ティーンズ) 月に1度オレンジ便りで予定等お知らせし、行事が近づくとその都度また案内を出している。また、活動の報告をオレンジタイムズで発信している。 |
| | | | ティーンズ | 4 | 0 | 0 | |
| 35 | 個人情報に十分注意しているか | キッズ | 7 | 0 | 0 | ・十分配慮している(キッズ・ティーンズ) 十分配慮していると思う。気付かないうちに情報が漏れたりしていないか確認し、引き続き注意していく。 | |
| | | ティーンズ | 3 | 1 | 0 | | |
| 36 | 障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | キッズ | 7 | 0 | 0 | ・配慮していると思う(キッズ・ティーンズ) 個別面談時や連絡ノートなどで情報のやりとりを配慮しながら行っている。一人一人の子どもと保護者様の状況やニーズに合った方法で意思の疎通や情報伝達を行っていききたい。 | |
| | | ティーンズ | 3 | 2 | 0 | | |
| 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | キッズ | 1 | 5 | 1 | ・コロナの為中止していたハロウィン行進を再開した(キッズ) ・地域住民を招待するなどはしなかった(ティーンズ) 数年ぶりにハロウィン行進を行い地域の方々と交流した。今後、川原崎のおひさま保育園の子ども達を招いての縁日や販売体験など、状況を見ながら地域住民と関わる機会を増やしていければと思う。 | |
| | | ティーンズ | 1 | 2 | 2 | | |
| 38 | 緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | キッズ | 6 | 1 | 0 | ・BCP計画等も含め新たに計画・マニュアルを更新した(キッズ) ・もっと周知が必要だと思う(ティーンズ) 今後、行政の意向や研修で受講した内容などを全員で共有していく。マニュアルが更新される毎に周知する機会を作り、公表する。 | |
| | | ティーンズ | 3 | 1 | 0 | | |
| 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | キッズ | 2 | 2 | 1 | ・避難訓練等行ってはいるが、不定期で頻度も多くはない(キッズ) ・定期的に行ってはいるが十分ではない(ティーンズ) 避難訓練は行っているが十分ではない為、今後計画を立てて定期的に行っていく。様々な被害を想定し、こまめに備え等確認していく。 | |
| | | ティーンズ | 3 | 1 | 0 | | |
| 40 | 虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等 適切な対応 | キッズ | 6 | 1 | 0 | ・虐待防止の研修は行っている(キッズ・ティーンズ) 虐待に関する研修は行っており、話し合う場を設けている。知らないうちに虐待につながっていないか、スタッフ同士で気を付け合い、助言等行って | |

| | | | | | | | |
|--------|----|---|-------|---|---|---|--|
| 非常時の対応 | 40 | 障害と難病がある等、適切な対応をしているか | ティーンズ | 3 | 1 | 0 | いい。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | キッズ | 6 | 0 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束の内容までは分からない(キッズ) ・やむを得ず身体拘束を行うことが予想される子に対しては、対応についてスタッフ間で話し合い、支援計画に記入し、説明を行ったうえで対応している。手を抑える等の身体拘束にあたる行為を行った場合は個別記録日誌の特記欄に記入している。 |
| | | | ティーンズ | 2 | 2 | 0 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | キッズ | 3 | 0 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在食物アレルギーで気を付けるべき利用者はいない(キッズ) ・該当する子がない(ティーンズ) ・現在、食物アレルギーがある利用児はいないが、医師の指示に基づいて支援が出来るような体制は整えている。パートさんへの周知も含め、引き続き勉強会等行っていきたい。 |
| | | | ティーンズ | 1 | 0 | 3 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | キッズ | 6 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・作成はしており共有している(キッズ) ・その都度口頭で注意喚起されている(ティーンズ) ・その当事者が作成し、緊急で会議を開いて振り返りを行い協議する。全員が事例集を見て共有する。今後も行っていく。 |
| | | | ティーンズ | 4 | 0 | 0 | |